

ボランティア実践

～地域で活動する意義～

2025年11月5日

日本文理大学 工学部 准教授
人間力育成センター長
高見 大介

自己紹介

/02



高見大介

兵庫県生まれ京都市育ち

◆日本文理大学

- ・学長室 担当
- ・人間力育成センター長
- ・工学部建築学科 准教授（ボランティア学習・市民工学）
- ・日本ボランティア学習学会 理事
- ・大分県教育委員会 社会教育委員
- ・大分県社会福祉協議会 福祉教育推進委員会 会長
- ・大分県少年の船、教育アドバイザー
- ・大分県ユネスコ協会連盟 理事 等



Chapter1

最近想ったこと
～社会に参画する悩み～





EXPO2025 大阪万博公式HPより

先日、大阪万博に行ってきました！
～その時の違和感～

/03

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

サブテーマ

Saving
Lives

(いのちを救う)

Empowering
Lives

(いのちに力を与える)

Connecting
Lives

(いのちをつなぐ)

この違和感 なぜだと思います？

/05



宮崎駿と養老孟司の対談

良くするという事に対して主体的でなくなっている
(社会全体が消費者)(全体を賄うほど組織に生産力はない)
理想は消費者50:生産者50

確かに「誰かがやってくれる」と思ってるかも・・・

社会で起こる課題に対して
自分は解決する能力もなければ、義務もない・・・
そう思ってるのかも



やっぱり課題に取り組むって難しい？

Case1

夏のある日の教室で...

/06



教室に行ってみると、電気がついていない
僕「なんで電気をつけて窓を開けないの？」
学生「つけてよいか、開けてよいかわからなかった」

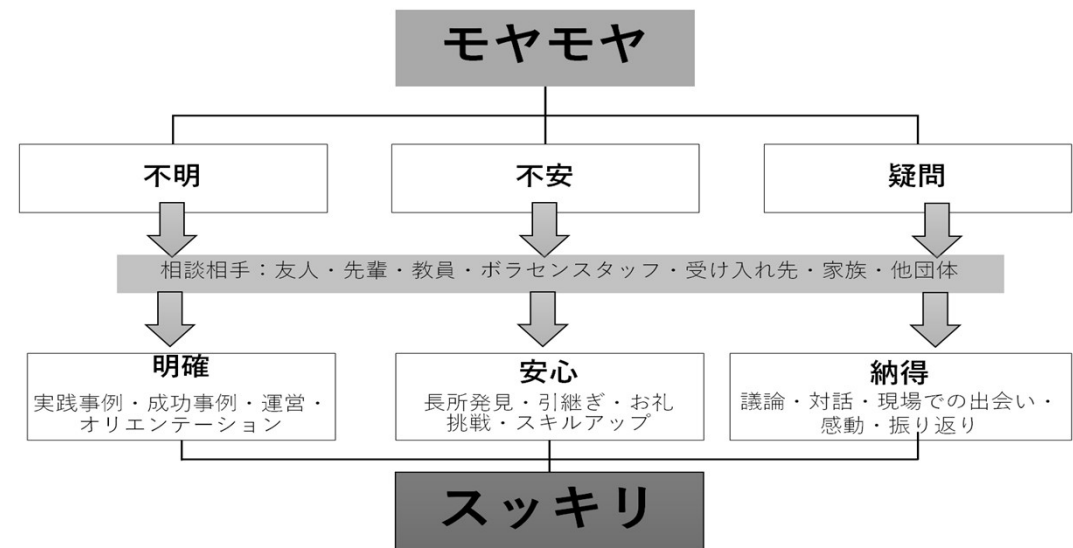
- ・自分の主体的行動で他者に迷惑？
- ・もしかしたらルールとかあるのかも...
- ・「あの人、なんだろう？」と思われないかな？

Case2

学生ボランティアの悩み

相談に来る学生の多くが「モヤモヤ」しますと話す

- ・言語化することで解決の糸口が見つかる
- ・解決「スッキリ」から逆算すると見えることも



注「利他」から考えるボランティア学入門(2025)。

社会貢献する者の悩み

はいよろこんで

はい、よろこんで あなた方のため
出来ることなら 出来るところまで・・・

こっちのけんと(2024)
Blowout inc.



こっちのけんと
日経クロストrendより

完璧を求めて悩める若者が世界中にいて..
「出来ることなら 出来るところまで」
これを、ありがとう！といえる世界がいい

「利他」から考える ボランティア学入門

西尾雄志/齊藤ゆか/高見大介
編著



ミネルヴ書房

Chapter2

理想の未来って？
～ボランティアが創るもの～



僕が父親になった日の話

/07



何もできない僕は、ただ言われるままに娘を抱き上げる

邪魔だからメシでも食ってこい…
分娩室からの泣き声
実感のないまま「お父さん、元気な女の子ですよ」と
妻は…

父親になる瞬間が知りたくてつけた「父親日記」

ある日、仕事から帰り娘を抱き上げると
猛烈な感動と「この子の幸せを望む気持ち」が込み上げる
ふと我に振り返る
この子と僕の違いは何だ？



僕の考えたステキな未来って

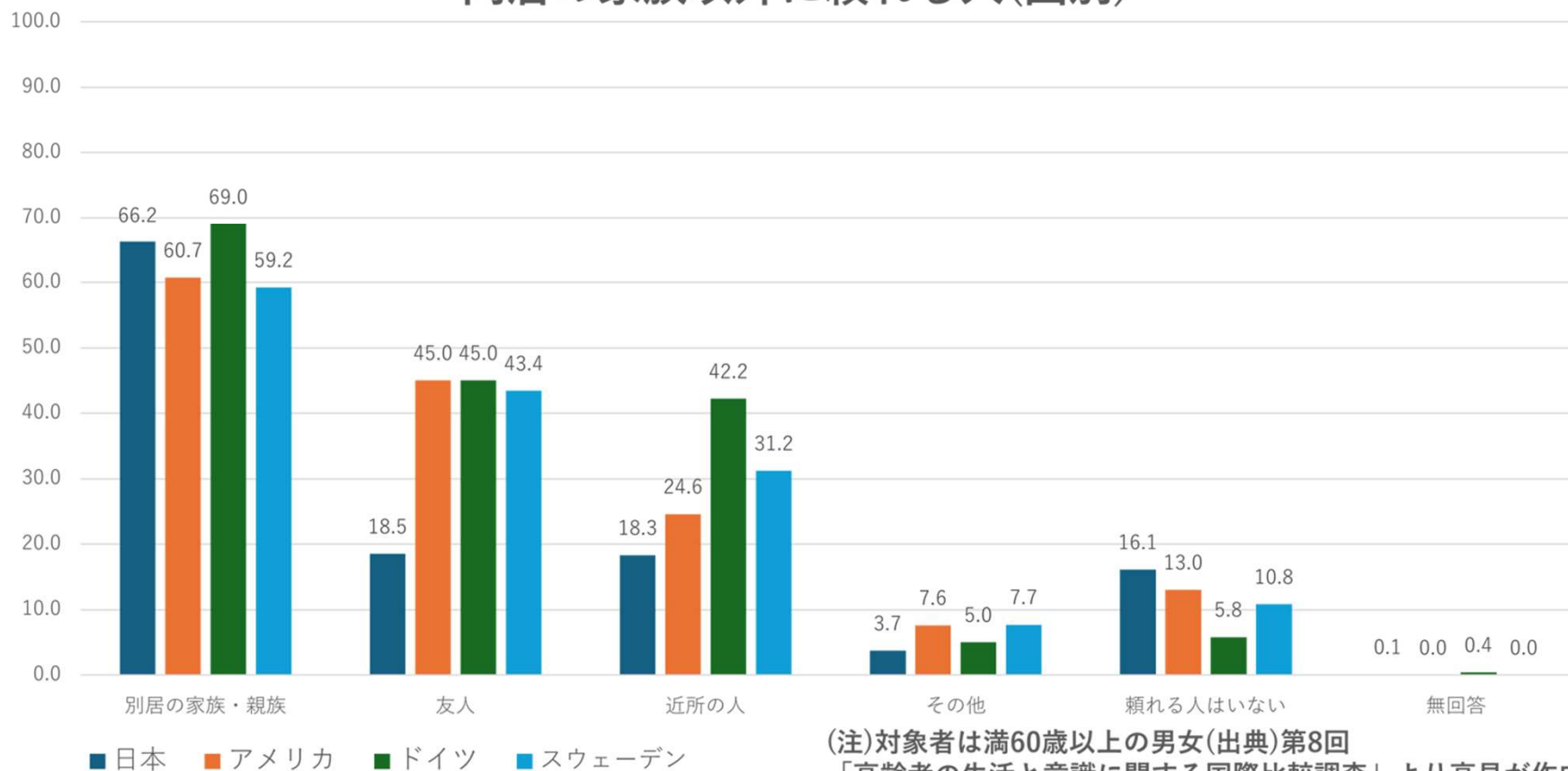
/08



助けて！と自由にいえる社会
迷惑を悪としない社会
支えあう社会(集団)沢山ある未来
今からは、そのために生きようと思った

助けてと言えない国

同居の家族以外に頼れる人(国別)



(注)対象者は満60歳以上の男女(出典)第8回
「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」より高見が作成

大人のメリット ～原体験の提供～

/10

★ 2004年 イラク日本人人質事件

- ・ イラク⇒イラク戦争以降、不安定な状況
- ・ 日本⇒渡航自粛勧告
- ・ その状況下で入国したの日本人3名⇒ジャーナリスト、ボランティア
- ・ 日本政府の対応⇒「テロに屈しない」
- ・ 武装勢力の要求⇒自衛隊の引き上げ



著者
同志社大学浅野健一ゼミ／編・著
出版社
現代人文社

自己責任から無関心へとつながった社会って

助けてと言えない国

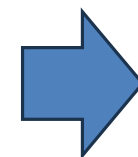
★平和に見える日本の不幸



・自分の親なので

・自分の子どもなので

・自分の事は



自分でどうにかしなさい

努力が足りないんじゃない？身から出た錆だよ？

迷惑をかけないでね！

・この言葉の奥にあるモノ⇒無関心・無関係という不幸

そんな未来をどうにか出来るのがボランティアだと信じてる
みんなで荷物を持ち合えるような社会

Chapter3

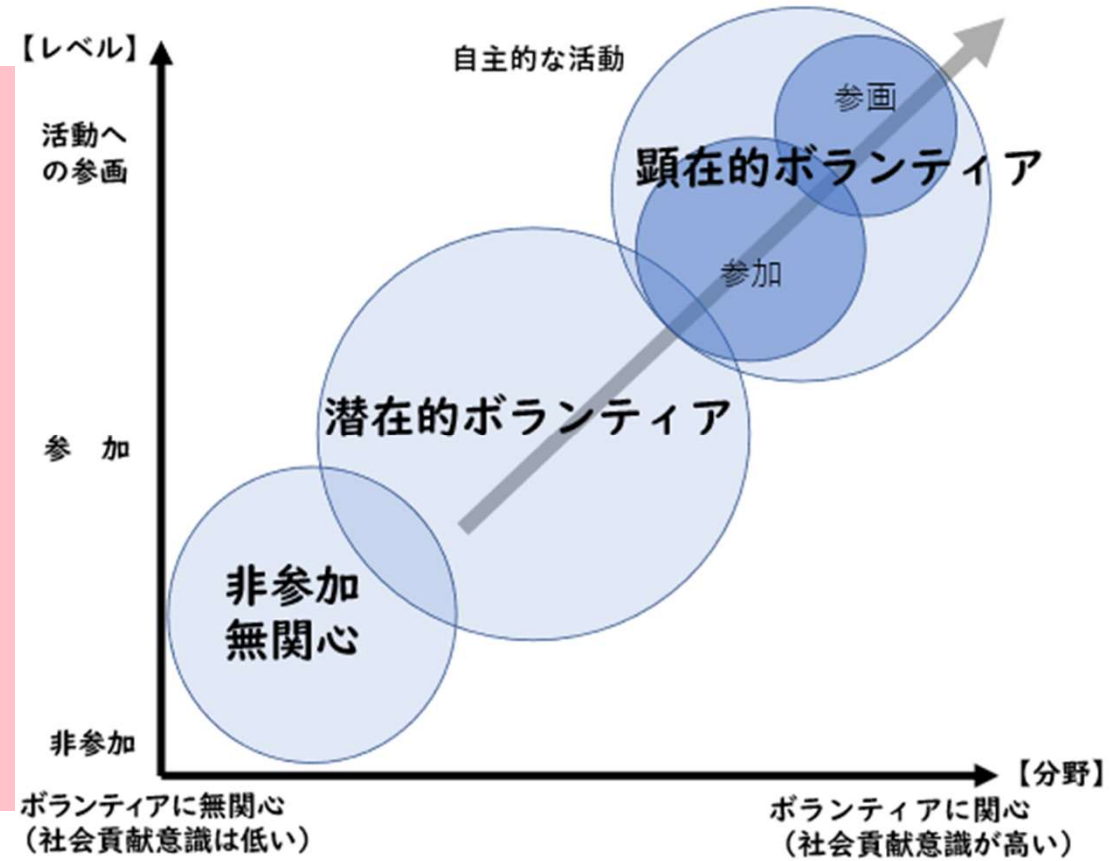
仲間を増やす

～誰もが人手不足で悩む今～

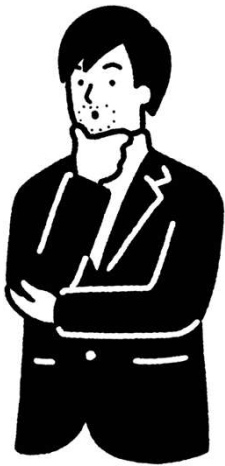




Point !



ボランティア活動をめぐる活動レベルと関心レベル
 注「利他」から考えるボランティア学入門(2025)。



人間のポテンシャルの最大化 ～利他に生きる～

/11

母の死をきっかけに、在宅で
父の介護をするようになる

自分の生活スタイルも変わり・・・

新しい自分が見えてきた
そして・・・



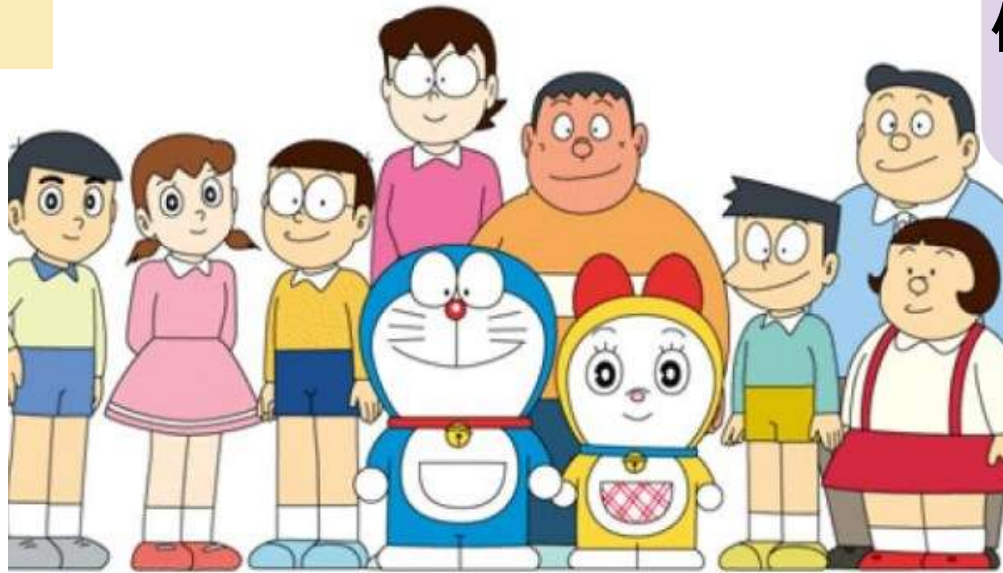
人間は自分がうまい飯を食うためにポテンシャルを発揮しないかもしれない
実力を存分に発揮するには**誰かのためという力**が必要

自己完結の限界

ドラえもんで考える利他

～たよりない主人公～

/12



ドラえもんイラスト集より

他人の幸せを願い、
他人の不幸に心を痛める事が出来る人、
そんな人を選んだ君を誇りの思う



STAND BY ME ドラえもんより

言葉にできないような魅力を持った「のび太君」
言葉にできない魅力を評価した「しずかちゃん」

我々が22世紀のために出来ること
ボランティアはそのカギだと思います
我々の出来ることを、出来るところまで
どんな小さなことでもいい、方法は様々
子どもたちの見る未来のために

Thank You

